



東桂中だより

～あたりまえの
ことを大切に～

令和2年 9月17日
文責 羽田 静香

新しいかたちの「桂鮎祭」を終えて

特別警報級の大型台風10号接近に伴う影響も心配されましたが、幸い天候にも恵まれて、9月5日(土)に『第53回 桂鮎祭』を開催することができました。

今年度の学園祭はコロナ禍であるがゆえ、感染防止対策の多くの制限下で実施しなければなりませんでしたが。本校の体育館も最大100人以内との使用制限がかかり、そのため残念ながら体育館を使用して実施する文化部門の開催は出来ないこととなりました。

そんな逆境とも言える状況におかれながらも、生徒会執行部は「有限にして無限の学園祭を創り出したい」という熱い思いを持ち、その思いを全校生徒も共有して、例年とは異なる新しいかたちの学園祭を模索し、創り出したのでした。

見事に新しいかたちの『桂鮎祭』を創り上げた、生徒たちの直向きで前向きな取り組みに、心から賞賛の拍手を贈りたいと思います。

保護者の皆様にも、観覧者数の制限や健康チェックシート提出等をお願いをし、心苦しく思っておりましたが、ご理解とご協力をいただきまして、改めましてお礼申し上げます。



『桂鮎祭』

思い出の場面



校舎の窓のテーマ装飾



全校製作モザイクアート



音楽部によるファンファーレ



開祭式 開会宣言



聖火ランナー



学級旗披露



選手宣誓



ソーラン隊の見事な演舞



躍動した全校ソーラン



応援団の勇姿



体育部門表彰



つるビー サプライズ登場

